

小野市議会だより

2023.5

No.206

小野市議会議員選挙
ポスター掲示場
4月23日(日)
投票日

(注意)

- この掲示場は、小野市議会議員選挙候補者以外の方には使用できません。
- ポスターは、指定された区画にはつてくたさい。
- 掲示場をこわしたり、ポスターをやぶつたりすると罰せられます。

小野市選挙管理委員会 (No. 7)

35	31	28	25	22	19	16	13	10	7	4	1
32	29	26	23	20	17	14	11	8	5	2	
33	30	27	24	21	18	15	12	9	6	3	

行使しましたか?
あなたの選挙権

行使しましたか？

あなたの

選挙権

18歳になると、私たちの代表を選挙で選ぶことのできる権利「選挙権」が与えられます。これは私たちがよりよい社会づくりに参加できるように定められた、大切な権利です。

「選挙」は、私たち一人ひとりのために。

日本は、私たち国民が主権を持つ民主主義国家です。「人民の、人民による、人民のための政治」。皆さんも一度はこの言葉を聞いたことがあるかもしれません。民主主義の基本であるこの言葉は、私たちと政治の関係を表す象徴的な言葉です。正当な選挙を通して私たちが代表者を選び、その代表者によって政治が行われます。選挙とは、私たちが政治に参加し、主権者としてその意思を政治に反映させることのできる最も重要かつ基本的な機会です。

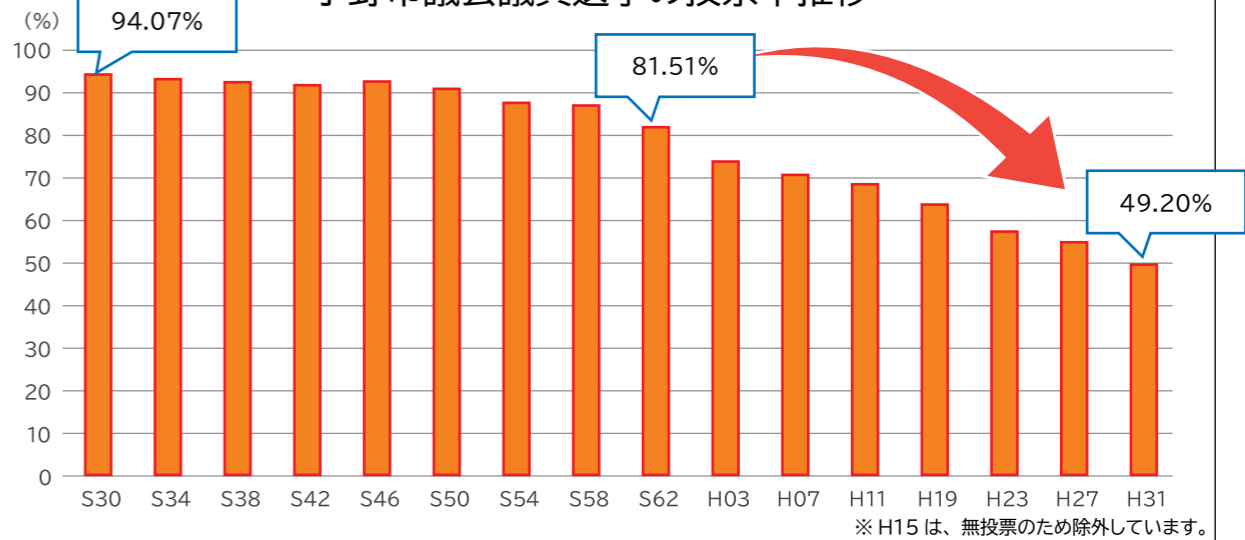


生活や社会をよくするために、「選挙」で意見を反映させてくれる代表者を選ぶ必要がある！

昔は投票率90%以上もあったんやな！



小野市議会議員選挙の投票率推移

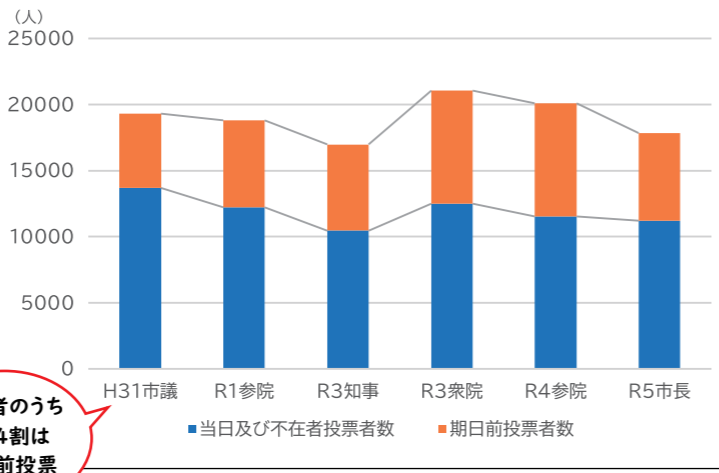


高かった市議会議員選挙の投票率も、前回では50%を切っている・・・。

Check!

令和5年4月執行小野市議会議員選挙の投票率 %
ホームページ等から投票率を検索して記入してみましょう！

小野市における投票者数に占める期日前投票者数

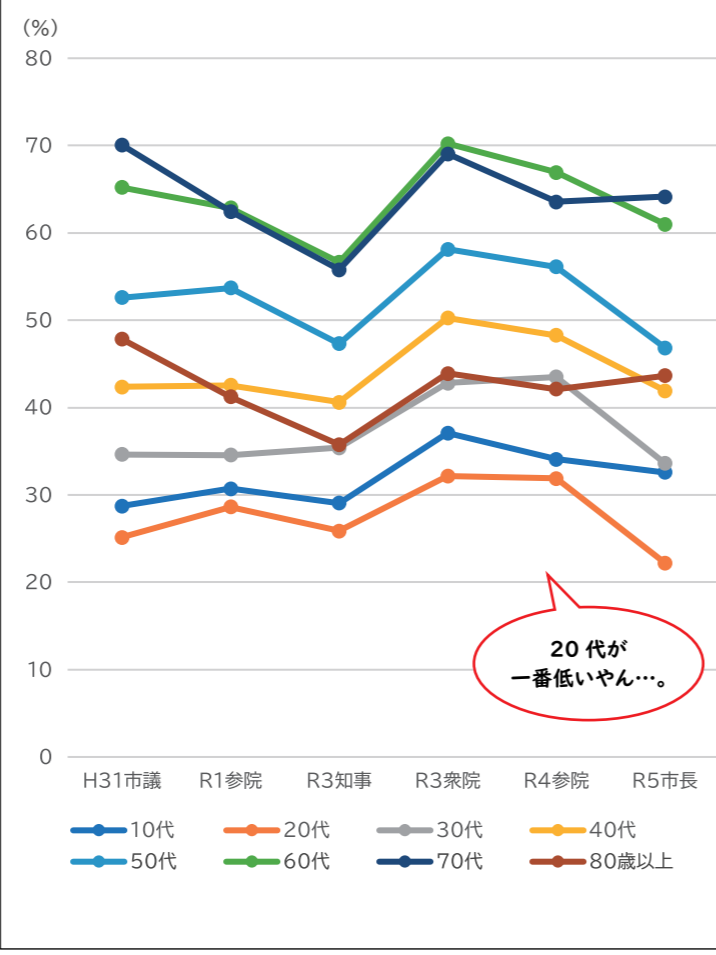


投票者のうち3~4割は期日前投票

浸透してきた期日前投票

選挙は、投票日に投票所において投票することを原則としますが、平成15年の公職選挙法の一部改正により期日前投票制度が創設されました。小野市においても浸透しつつあり、制度利用者は3~4割を占めています。しかし、投票率は減少しているため、この制度が投票率の向上に直接つながっているとは言えないかもしれません。

小野市における年代別投票率



20代が一番低いやん・・・

若者の皆さん、あなたの意見を一票に！

平成27年6月の公職選挙法の改正により、選挙権年齢がこれまでの「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられました。なぜ、選挙権年齢の引き下げが行われたのでしょうか。それは、少子高齢化が進む中で、未来の日本に生きていく若い世代に、現在そして未来の日本のあり方を決める政治に関わ

てもらいたいという意図があるからです。

今、日本は、少子高齢化のために高齢者の人口が増え、若年者の人口が減っています。これは、若年の有権者数が少ないということであり、若い世代の意見が国や地方の政治に反映されにくいということです。そこで、若い世代の意見がもっと政治に反映されるよう、選挙権年齢の引き下げが行われ、より多くの若い人たちが選挙で投票できるようになりました。

あなたが投票しなければ、あなたの思ふまちにはなりません。選挙権は、私たちが持つ、まちを変えることのできるチカラです。ぜひ、あなたのチカラでまちを変えませんか。



あなたの一票がまちを変える一歩

提出議案と審議結果

★全会一致で可決した議案

区分	議案番号	議案名
新年度予算	第1号	令和5年度小野市一般会計予算
	第2号	令和5年度小野市国民健康保険特別会計予算
	第3号	令和5年度小野市介護保険特別会計予算
	第4号	令和5年度小野市後期高齢者医療特別会計予算
	第5号	令和5年度小野市都市開発事業会計予算
	第6号	令和5年度小野市水道事業会計予算
	第7号	令和5年度小野市下水道事業会計予算
補正予算	第8号	令和4年度小野市一般会計補正予算（第9号）
	第9号	令和4年度小野市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	第10号	令和4年度小野市介護保険特別会計補正予算（第2号）
	第11号	令和4年度小野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	第12号	令和4年度小野市水道事業会計補正予算（第3号）
	第13号	令和4年度小野市下水道事業会計補正予算（第3号）
条例	第14号	小野市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について
	第15号	小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
	第16号	小野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
	第17号	小野市子ども・子育て会議条例及び小野市保育給付資格の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	第18号	小野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
	第19号	小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
	委員会提出第1号	小野市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について
契約	第24号	総合体育館空調設備等改修工事請負契約の変更について
人事	第23号	小野市公平委員会委員の選任について
その他	第20号	小野加東広域事務組合同規約の変更について
	第21号	小野市道路線の認定について
	第22号	小野市道路線の廃止について

審議議案の中から PICK UP!!

旭丘中学校の校舎及び体育館は、築50年以上が経過し、建物の傷みや設備・機能の劣化など老朽化が進んでいます。そこで、物理的な不具合の修正や建物の耐久性、機能・性能を引き上げる改修を行い、安全安心な施設環境の確保、教育環境の質の向上を図ります。

〈対象施設概要〉

- ・特別教室棟及び管理教室棟
延床面積4,572㎡
- ・体育館
延床面積852㎡

〈事業期間〉

- ・校舎 令和4年度、令和6年度
- ・体育館 令和5年度

〈総事業費〉

- ・24億5千万円

（うち3月補正分は、4億5,960万円）



一般会計補正予算第9号議案第8号）
旭丘中学校改修始まる

第441回 定例会 3月

会議期間32日間
（2月24日～3月27日）

市長提出議案…24件

（当初予算7件・補正予算6件・条例6件・その他5件）

議員提出議案…1件（条例1件）

計25件

アルゴ、おのアクトのトイレ洋式化

国の交付金事業を活用して、小野市総合体育館（アルゴ）及び匠台公園体育館（おのアクト）のトイレ洋式化等の工事を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、バリアフリー化を推進します。

〈事業内容〉

- ・和式トイレの洋式化・古い洋式トイレの更新
- ・トイレ床の乾式フロア化
- ・段差解消等のバリアフリー化
- ・手洗いの自動化
- ・改修に伴う配管工事・電気工事等

〈実施時期〉

令和5年度

〈事業費〉

総合体育館
（アルゴ）
4,500万円

匠台公園体育館
（おのアクト）
3,000万円

（3月補正）



農業生産コスト低減緊急対策

農業用機械の導入に補助

肥料高騰等の影響を受ける地域農業の担い手である経営体に対し、生産コスト低減に役立つ機械の導入を支援することで、持続可能な営農体系の確立を図ります。

〈支援対象〉

コスト低減に役立つ農業機械（トラクター、コンバイン、ドローン）等の導入経費

〈補助率〉 1/2以内（上限750万円）

〈事業費〉 12,500千円（3月補正分）



審査内容

※内容一部抜粋

防犯カメラ設置事業補助金について、「予算の範囲内で実施」とはどのような運用になるのか？

補助の対象は、自治会が新規に設置する、犯罪の防止を目的として公道等を撮影するための防犯カメラで、自治会施設やゴミステーション等の管理目的のものは対象外です。募集期間を設け、申請のあった設置内容や場所を精査し、警察と協議した上で優先順位の高い順に一括して交付決定を行います。

妊娠・出産・子育て応援ギフトの内容は？

すべての家庭が安心して妊娠・出産・子育てができるよう、専門職が身近な相談に応じながら必要な支援につなぐ、伴走型子育て支援を推進します。支援の実効性をより高めるため、経済的支援（妊娠届出時5万円、出産時5万円）を一体的に実施します。

観光大使委託料と観光プロモーション推進業務委託の内容は？

観光大使である小林祐梨子さん、cyanさんを通じて、市のPR活動の実施を小野市観光協会に委託しています。内容は、PRの際に特産品を試用する場合の費用などです。
観光プロモーション推進業務委託は、2025年に予定されている大阪・関西万博に向け、また、JR西日本のデスティネーションキャンペーンに合わせ、本市の特性を活かした観光PR事業を展開します。



適正な予算執行が行われるか、
仕組・システムを含め市議会が
監視します！

地域のきずなづくり支援（地域活動デジタル化補助）の内容は？

電子回覧板やデジタルアプリの活用、スマホ教室の開催など、自治会が取り組むデジタル化推進活動に対し補助を行い、「自治会のDX（デジタルトランスフォーメーション）」を推進し、業務の負担軽減、効率化につなげます。

こどもサポートセンターの設置について、設置場所や内容は？

子育て世帯に対する支援体制強化のため、妊娠子育てサポートセンターと家庭総合支援拠点、発達支援室の機能を統合した「こどもサポートセンター」を4月に開設します。これまで実施していた相談支援等に加え、個別サポートプランの作成など、さらなる支援の充実・強化を図ります。設置場所は、健康増進課・子育て支援課・社会福祉課内です。

骨髄等移植ドナー助成について、対象となるのはドナー決定後の医療費だけか。諸経費は含まれるのか。含まれるのであれば、その内容は？

ドナー登録された方が骨髄を提供された場合の医療費等は、骨髄バンクが負担します。市の助成は、提供に要した通院、入院または面談の日数×2万円（1回につき20万円を限度）です。この助成は、ドナーの身体的・精神的かつ経済的負担の軽減を目的としているため、諸経費の内容は問いません。

学校給食会計への補助により、1人あたりどの程度の軽減になるのか？

食材費高騰の影響を受ける学校給食会計に補助金を交付することにより、給食費1人あたり年間約2,500円を軽減し、保護者への価格転嫁を避けるとともに、給食の質・量の維持を図ります。

「躍動するまち・持続可能なまち」のおのを目指して

令和5年度 予算審査

令和5年度当初予算に係る7議案について、予算決算常任委員会へ付託し、3月14日、15日の2日間、担当部局ごとに予算審査を実施しました。今年度も昨年度と同様、日程を短縮

し、質問項目を事前通告制にして簡潔な説明を求めました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算額

一般会計	212億4,000万円
特別会計 (国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)	103億4,000万円
企業会計 (都市開発事業・水道事業・下水道事業)	54億2,570万円
合計	370億 570万円



★新たな魅力を創造するまちづくりの推進



★次世代へつなぐサステナブルシティへの挑戦



★地域活力と健康・生きがいの創造



★子育て支援・教育環境の充実



★安全安心に暮らせるまちづくりの推進

ここが聞きたい 一般質問!!

市民のみなさまの生活に
関わることについて、
8人の議員が
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)



- 一般質問とは?
市政全般にわたり、執行機関（市長）に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。
- 質問テーマは?
1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。
- 質問の制限時間は?
1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)



《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画を見ることができます。



川名善三議員(公明党)



LPガス利用家庭への負担軽減策は

答弁 国での議論の動向を注視したい

質問 国においては、今年1月より電気及び都市ガス料金については、負担軽減策が実施されているが、LPガスについては対象となっていない。小野市で多いLPガス家庭への負担軽減策は。

学校保健推進事務費の内容は(令和5年度一般会計予算)

質問 学校保健推進事務費639万円の具体的内容は。

答弁 「日本スポーツ振興センター災害共済給付」に関する市独自の支援のための経費である。

具体的には、令和5年度から、これまで保護者負担となっていた「共済加入金」に市独自に「全額助成」を行うための経費と、校内の怪我などで、一時的な医療費を支払うことが困難な家庭へのセーフティネットとして、5万円以上を対象とした貸付金制度創設への経費である。

「教育のまちおの」として、利用しやすい制度拡充に向けた市独自の支援を充実させる。(市当局)

答弁 小野市では、エネルギー価格・物価高騰対策として、「おの恋らっきやらつきや券」の発行や給食費の値上げ抑制などに、総額12億5千万円にのぼる事業を展開してきた。国によるLPガス利用家庭への支援については、都市ガスに比べ多くの事業者が零細業者で事務作業の負担が重いなどの理由により実施されていない。エネルギー価格の動向は、ウクライナ情勢や為替の影響が大きく、支援については国レベルの課題と考える。(市当局)

河島三奈議員(市民クラブ)



通学路等の安全対策について

答弁 定期的な点検を行い、引き続き更新等を行う

質問 グリーンベルトの経年劣化について、市道は更新されているが、県道は剥げたままである。市民にとっては市道も県道も同じ小野市の道路である。見栄えだけの問題ではなく、安全対策についての意識のバロメーターであると考え。市は有効性をどのように考えるか、また劣化の激しい箇所は早急に対応できないのか。

答弁 市としては、通学路の安全対策は重要事項であると認識しており、グリーンベルトは歩行者の安全を確保する対策の一つとして事業費も少なく早期に設置が可能であり、有効な手段であると考えている。劣化箇所については把握しており、道路管理者に更新を要請しているが、現状はなかなか進んでいない。市道においては定期的な点検や、

市民の情報提供などで適宜新設や更新を行い、県道等については要請を続けていく。(市当局)

水道水における有機フッ素化合物の検査について

質問 昨今、基準値を超過する自治体が全国各地で増えているようだが、小野市ではどのように対応しているのか。

答弁 小野市では法令の一部改正を受け、令和2年度から水質検査に同項目を追加し、安全性を確認するとともにホームページで公表している。引き続き毒性評価情報の収集や検出状況の把握に努め、要監視項目の追加も視野に入れつつ、今後も国の動向を注視し、安全で安心な水道水の安定供給に努めていく。(市当局)

小林千津子議員(市民クラブ)



市長施政方針について

答弁 もっともっと小野市を変える!

質問 小野市が変わり賑わいをもたらす具体的な事業「図書館東側の新たなまちづくり構想」について

答弁 現在の東環状線が持つ商業機能と連携させながら、当該地域を市街化区域に編入し、幹線道路沿いの店舗が立地可能な商業ゾーンとして整備を進める。市民が望む商業施設を誘致し、新たなまちづくりの実現を目指す。(市当局)

質問 小野市の価値を高めていくまちづくりについて

答弁 「小野市をもっともっと変える」ことにより、賑わいづくり、誇りづくり、愛着づくりとなる。住んでいる人が「誇り」を持ち、愛着を持てるまちづくりを行うために、無限の理想への果てしなき挑戦を続けることが、責務であり使命である。持続可能で「もっと元気な小野市」を実現することで価値を高めていく。(市長)

答弁 他に類を見ない「1日滞在し遊べる道の駅」を目指し、デザイン等にこだわり、高い次元で整備を行いたい。また、浄土寺など周辺施設や地域とリンクさせた新たな取り組みを創造し、四季折々の顔を見せ一年を通して立ち寄りたくなる「道の駅」を目指したい。(市当局)



山本悟朗議員（無党派）



伴走型子育て支援について

答弁 サポートセンターは子育てのサービス拠点

質問 4月から運用が始まる「小野市こどもサポートセンター」について、サービス拠点としての運営を期待するが、その運営姿勢について伺う。

答弁 新設するサポートセンターは、市直営型で、ナイチンゲール精神をもつ看護師資格を併せ持つ保健師、保育士、加えて助産師が相談に対応する。「子育て頑張る、子育て楽しむ」を、各家庭の事情に寄り添って応援できる公的支援、民間事業等を紹介し、ちょっとした困りごと、小さなSOSでもすべて対応する態勢を整え、誰一人取りこぼさないよう支援を行う。気軽に連絡をいただきたい。

質問 伴走型子育て支援を実りあるものにするには、まちぐるみで子育て支援を行っていくことが肝要。そうなるよう、行政としても仕掛けを

（市当局）



ひまわりの丘公園で遊ぶ親子

（市長）
用意する必要があるのではと考え、具体的施策（子育て支援の補助金創設など）を提案する。
答弁 提案の具体的施策については、ニーズのマッチングなど幾多の問題があると思うが、地域コミュニティを含めた社会資源の充実と、その利用促進のために、行政として仕掛けを用意することには同意する。

藤原 章議員（日本共産党）



生活支援にフードバンクの設立を

答弁 社会福祉協議会と連携し食料支援を実施

答弁 NPO法人「フードバンクはりま」と提携して食料支援を実施している。また、今年3月から、社会福祉協議会が市民からの食材提供を受け付ける「フードドライブ」事業を開始した。

学校給食への補助継続を

質問 物価高への対応で令和5年度は学校給食への補助が予算化されている。この補助は今後も続けていくのか尋ねる。

答弁 将来を推測することは困難だが、給食センターの経費削減を図り、保護者負担は上げない努力を続ける。

生活保護と福祉給付制度適正化条例について

質問 生活困窮が広がっているが、生活保護はあまり増えていない。

（市当局）

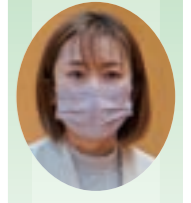
上水道料金の見直しを求める

質問 一人世帯・二人世帯が増えて「水道代が高い」という声を聞く。基本水量に達しない世帯が納得できる料金に見直すべきではないか。

答弁 少人数世帯が増えており、家庭水道料金体系の見直しの検討が必要だと考えている。ただ、電気料金的大幅な上昇が水道事業経営に重大な影響を及ぼしている。基本水量制から従量制への見直しを検討し、使用量が少ない家庭へ配慮するが、他の要素も料金体系に影響する。

（市当局）

平田真実議員（無党派）



おむつ持ち帰りの廃止について

答弁 全ての保育施設で持ち帰りを止める方針

質問 使用済み紙おむつを保育所等で処分することを推奨する通達が厚労省から出されたが、保育所等や特別支援学校での今後の方針は。

答弁 保育所等では、全施設で使用済み紙おむつの持ち帰りを止める方針を確認した。処分費用等の保護者への実費徴収も行わない。市は、使用済み紙おむつの一時的な保管場所を検討する園に、「保管用ごみ集積場」に係る整備補助金の検討・調整を進める。特別支援学校については、処分方法等の環境整備を含め、保護者と協議し対応する。令和8年度開園予定の新たな幼稚園では3歳児の受け入れを予定しているが、保育所等と同様に園で処分する方針で準備を進める。

質問 多子世帯の保育料軽減について、「保育所に同時入所していること」が前提となっているが、兄弟姉妹の年齢によらず多子世帯の保育料軽減が図られるべきでは。

答弁 多子世帯負担軽減事業は、子育て世帯の一時的な保育料の急増を回避するための経済的支援策であり、第2子以降の0歳から2歳児の9割以上に適用しており、今以上の制度拡充は考えていない。

自治体DXについて
質問 職員の働き方におけるDXをどのように推進するか。
答弁 RPAや文書決裁・文書管理システムの導入を予定している。引き続き既存の業務等を抜本的に見直し再設計しながら、業務のDXを推進していく。

※RPAとは、ロボティックプロセスオートメーションの略で、パソコン作業の自動化ツールのこと。

（市当局）

河島 泉議員（無党派）



ヤングケアラー相談について

答弁 当市ではこれまで児童生徒からの相談はない

質問 本人自身がその問題の当事者であるとの意識を持っていない。早期発見と支援についての取り組みは。
答弁 小野市いじめ等防止条例に定めたそれぞれの役割を果たすことが、問題の早期発見につながる。支援強化は、要保護児童対策地域協議会で、専門的知見と関係機関の連携で問題に取り組む。

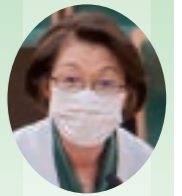
返礼品開発の状況は。
質問 返礼品開発の状況は。
答弁 基本的に小野市はふるさと納税制度に対し、否定的に思っている。令和4年度中の新たな登録事業者は5社、返礼品は54品となっている。今後、寄附募集方法や地域商品券事業などの検討を進めていく。

寄附してくださる方を「セカンド市民」として、市の行事やイベントに優先的に参加できる権利や最寄りの駅まで市のバスでの送迎付きにするなど、特別なサービスの提供や特典を付けることを返礼品とする考えは。
答弁 「セカンド市民」との定義は難しいが、返礼品として、小野まつりの栈敷席や、おのハーフマラソン参加権を設けることを考えている。

（市当局）

（市当局）

高坂純子議員（無会派）



QRコード



障がい者グループホームの今後は

答弁 需要と供給のバランスを考慮し体制を整える

質問 小野市における基幹相談支援センター機能について

答弁 夜間等に対応できる基幹相談支援センターは設置していないが、精神科病院である大村病院を運営する医療福祉法人「樹光会」に委託した「小野市障がい者地域生活・相談支援センター」が役割を代行し、精神保健福祉士2名が相談支援専門員として常駐している。（市当局）

質問 選挙投票率の向上について

質問 移動手段が無い高齢者の投票について

答弁 市内の当日投票所は30か所設けている。また、タクシー運賃が半額程度になるらんらんタクシー利用登録者証をお持ちの方は、自宅から市役所の期日前投票所まで利用可能。（市当局）

質問 投票済証明書について

答弁 申請が省略され、投票が終了した希望者に交付する。（市当局）

質問 障がい者グループホームの入所に対し金銭的援助はできないか。

答弁 グループホーム入所者に対する支援というのは今まで具体的に聞いていない。しっかりと現状を認識し、総合的に判断して具体的な金銭対象を含め、どのようにすることが支援を望んでいる方にとって一番マッチングするのか、ということについて慎重に対応する。（市長）



しおり型投票済証明書

議会と市民との懇話会

一般質問をする日の休憩中に、傍聴に来られた方が議会での一般質問や市政全般について質問することができ、市当局や議員がその場で答える懇話会を実施しています。傍聴に来られた方のみが体験できる時間ですので、ご覧になりたい方、参加したい方は是非とも議場にお越しください。



懇話会での意見

- 自主防災用ホース格納箱について
 - エクラの子育てルーム再開について
 - 通勤時間帯における歩行者・通学者の安全確保について
- など

市議会から義援金を行いました！

本年2月にトルコ南東部で発生した地震で被災された方々に対し、令和5年トルコ地震兵庫県義援金募集委員会を通じて、小野市議会から10万円の義援金を行いました。被災された方々に対し、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復興をお祈りいたします。



常任委員会審査報告

3月定例会の提出議案審査について、予算決算、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催し、当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。

《予算決算常任委員会》（令和5年度予算審査はP6～7もご覧ください）

3月10日、14日、15日開催
 付託議案数：8件（議案第1～第8号）
 審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容
 議案第8号 令和4年度小野市一般会計補正予算（第9号）について
 旭丘中学校長寿命化改良工事を行うにあたって、仮設校舎建設のためグラウンドの一部を使用することになるが、生徒の部活動等に影響が出ないよう公共施設等の優先的な使用を検討することなどを確認しました。

《総務文教常任委員会》

3月10日、20日開催
 付託議案数：4件（議案第14号、第19号、第20号、第24号）
 審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容
 議案第19号 小野市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
 小野希望の丘陸上競技場（アレオ）において、これまではレンタルで対応していた写真判定装置を新たに整備したため、他の用具とは別に使用料を定めることを確認しました。

《民生地域常任委員会》

3月20日開催
 付託議案数：6件（議案第15号～第18号、第21号、第22号）
 審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきものと決定。

●主な審査内容
 議案第15号 小野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
 出産一時金の額を産科医療補償分を加算して50万円とすることにより、様々なケースがあり全てではないが、国保加入者の出産費用を概ね賄えるようになることを確認しました。



一部事務組合

議会報告

市町村は、少子高齢化や情報化の進展など、多様化・高度化する行政課題への対応に迫られています。事業によっては広域的に連携することによって、効率的でさらに質の良い事務処理が可能となります。

小野市は北播磨圏域の4つの組合に加入しており、議員が各組合議会の議員を務めています。令和4年度の活動について、各組合議員から報告を行いました。



★小野加東広域事務組合



【構成市】 小野市・加東市
【小野市の組合議員】
松永美由紀（議長）、喜始真吾、高坂純子

令和5年1月、厚生労働省は、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方の火葬等に関する制限を大幅に緩和し、一定の条件下で一般葬と同様にするとガイドラインを発表しました。

しかし湧水苑は、施設建築20年以上が経過し、十分な換気ができない状況であることや、葬儀場や霊柩車の衛生面等での人的・物的負担が増えること等を考慮し、従前からの措置を継続しています。

今後、新型コロナウイルス感染症の5類への移行を制限緩和の一つの目安としており、条件が整えば通常の火葬業務に戻す予定です。

また、管理している王子ヶ丘墓苑は、宗派を問わず申し込みを受け付けています。

★北播衛生事務組合



【構成市】 小野市・加東市・西脇市
【小野市の組合議員】
喜始真吾（監査）、松永美由紀、高坂純子

小野市・加東市・西脇市から発生するし尿及び浄化槽汚泥等の処理を目的として、平成元年より供用を開始しています。令和3年12月からは、し尿や汚泥を水で希釈して下水道に放流しており、それまでの焼却処理は休止しています。この方法により、15年間で10億円のコスト削減を目標としています。

また、スポーツ公園は3市を中心にサッカー競技で使用されており、令和4年度は約60件の利用がありました。

★北播磨総合医療センター企業団



【構成市】 小野市・三木市
【小野市の組合議員】
山本悟朗（議長）、村本洋子、河島泉、河島三奈、河島信行

令和5年度から2年計画で看護師不足のため、2病棟を閉鎖することが決定しています。しかし、昨年までの新型コロナウイルス感染症の対応による休病床措置により稼働していない病床があったことから、実質的な影響はそんなに大きくありません。とはいえ、看護師不足は深刻な問題であり、人員確保は急務です。

医師の数はむしろ増え、スペース不足になっており、将来的には病院の規模を拡大する計画もあります。日々変化する状況の中で、小野市・三木市の市民にとって良い病院であることを目指し、職員も、議会も精進いたします。

★小野加東加西環境施設事務組合



【構成市】 小野市・加東市・加西市
【小野市の組合議員】
前田光教（議長）、小林千津子、川名善三

新たなごみ処理施設について、令和4年4月26日、老朽化する現「小野クリーンセンター」に代わる新しいごみ処理施設の建設に向けて「基本確認書」に合意しました。

- 【主な合意内容】
- ①施設建設及び運営は3市で構成する「小野加東加西環境施設事務組合」で行う。
 - ②基本理念として「周辺環境と融和し、資源循環型社会に資する施設」とし、迷惑施設から脱却した「地域に親しまれ、開かれた施設」を目指す。
 - ③稼働開始は、令和17年度を目途とし、新施設稼働後、3市において速やかに現施設の解体撤去を行う。
- 今後は3市における費用の負担割合や付帯施設のあり方などの諸課題について、引き続き協議を行います。

東播磨道北工区現地視察！

2月3日、東播磨道北工区について、小野市区間の現地視察を実施しました。令和6年度末の開通に向けて、工事は順調に進捗しています。開通後は、東播磨地域と北播磨地域の移動距離が短縮されることによる利便性の向上や地域の連携、人的・物的交流の促進に大いに期待するところです。

また3月21日には、八幡稲美ランプから八幡三木ランプまでが開通し、竣工式典が行われました。小野市議会からも正副議長、民生地域常任委員長が出席しました。



議会を傍聴しませんか

☆ 5月臨時会日程 ☆

5月9日(火) 午前10時～

☆ 6月定例会日程 ☆

6月1日(木) 午前10時～

本会議(第1日) 議案説明

6月16日(金) 午前10時～

本会議(第2日) 一般質問

6月19日(月) 午前10時～

本会議(第3日) 一般質問

6月28日(水) 午後1時30分～

本会議(第4日) 議案の採決など

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★6月定例会で一般質問する項目・内容については、6月上旬に市議会ホームページに掲載します。

「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。(費用負担はありません)



傍聴に行けなくても YouTubeで議会中継



マチイロ

アプリをダウンロードするとスマホに広報誌が届きます!



傍聴席から見た議場

小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。市役所6階 議会事務局までお越しください。

議会と市民との懇話会

一般質問を行う日の本会議休憩中に、傍聴者の方からご意見をいただく機会を設けています。展開される議論にご注目ください。一般質問は6月16日(金)、19日(月)に行います。

「託児コーナー」を開設

一般質問を行う6月16日(金)、19日(月)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子様をお預かりします。6月8日(木)までに、議会事務局までお申し込みください。(費用負担はありません)



議会傍聴者数

3月定例会39名
(令和4年度累計215名)

＜お申し込み先＞ 議会事務局 TEL. 63-1006(直通) FAX. 63-4108
E-mail: gikai@city.ono.hyogo.jp (市議会だよりへのご意見もこちらまで)

あとがき

「小野市議会だより」をご覧くださり、ありがとうございます。小野市議会では、本年3月議会が現在の議員での最後の本会議となります。

この議会だよりは、小野市議会の活動に対し、市民の皆さまから関心を持っていただけるようにと考えながら編集しています。①特集コーナー②議案審議の内容③議員の質問④常任委員会での協議の模様 等々。その時々々の情報を、できる限り掲載し発信しています。次の議会からは、新しいメンバーによる市議会が編成されます。議員の活動に興味を持っていただき、議会だよりをご一読いただければ大変嬉しく思います。今後、新しくなった議員の活動にもご注目ください。

(市議会広報編集委員)

岡嶋正昭

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。